令和3年度直方市施政方針

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市民生活はもちろん、社会経済的にも大変厳しい1年でした。今年度は、ワクチン接種も始まりますが、まだまだ、新型コロナウイルス感染症の防止対策が必要と考えています。

しかし、このような時こそ、ピンチをチャンスに変えるという発想で、コロナ禍後を見据えた経済の好循環に向けた取り組みを進めます。特に、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進し、市役所内部事務のデジタル化、行政手続きのオンライン化、地域の情報化を進めます。

どこに投資すれば成長が見込めるのかというを考え方の基本として、「まち」、「ひと」、「産業」を中心に事業を展開します。

直方市長 大塚進弘

主要施策ご紹介

「まち」に関する主な取り組み

- リノベーションによる中心市街地商店街空き店舗再生事業の推進
- 地域子育て支援センターの設置に向けた取り組み
- IT産業等の事業所開設
- JR直方駅周辺のポテンシャルを生かす新たな産業拠点の整備およびスーパーの誘致などの具体化
- 筑豊電気鉄道の延伸の検討
- 保健福祉センターの基本設計に着手
- 空き家の利活用・除却等の促進
- 下老良植木線の天神橋架け替えの早期事業化と境口鴨生田線の勘六橋の2期工事の事業促進の取り組み（県事業）

「ひと」に関する主な取り組み

- 就学前教育・保育および家庭教育に対する支援強化
- 保育士確保対策の強化
- 学校教育における未来型授業の実践と習熟度別少人数指導と補充学習の充実
- 通学区域の見直しおよび小中学校の再編に向けた取り組み
- 中学校給食の全員喫食に向けた取り組み推進
- 中高生を対象としたプログラミング教室の開催
- 健康寿命の延伸に向けた運動習慣定着事業の推進
- 障がい者が安心して暮らせる地域生活支援拠点の設置
- 外国人との共生社会の実現に向けた民間事業者による協議会の設立
- 結婚新生活支援事業の実施

「産業」に関する主な取り組み

- デジタル技術活用による地場産業の高付加価値化の支援
- 産学官連携の推進による地場産業の活性化
- 植木地区の産業団地開発の推進
- 高アミロース米「ふくのこ」の生産強化と商品開発
- 観光基本計画の策定

※令和3年度施政方針は、市ホームページにて公開しています。

上頓野小6年生が卒業記念に西鉄バスを装飾

2月24日、上頓野小学校で6年生3クラスの児童約70人が西鉄バス車両を飾りつけしました。西鉄バス筑豊株式会社が「コロナ禍で気分が沈んでいる地域を盛り上げたい」との思いから、同小に提案して実現したもの。1クラスごとに「満開の桜号」「季節のてんこ森フラワー号」「スクールメモリー大集合号」とテーマを決めて、思い出がこもった飾りで西鉄バス3台の車内を彩りました。

飾りつけをした溝上 みぞかみ 天音さん(12)は「初めての体験で楽しかった。運動会や自然教室など、6年間の思い出でいっぱいにした」と笑顔で話しました。また、仲谷 なかつたに 果子さん(12)は「乗ってくれる人がワクワクしてくれたらうれしい」と期待を込めました。装飾した西鉄バスは、2月25日から3月31日まで頓野線を運行しました。

まちの話題

知っていますか？

作家・阿部 あべ 平臣 ひらおみ さん

阿部平臣さんは、1920年7月に直方市に生まれ、東京美術学校で油彩画を学ばれました。公募美術展である行動美術展で行動新人賞など数々の賞を受賞。亡くなる直前まで、直方市を拠点に作家活動を続けられました。戦後の地元文化をけん引するとともに、中学校の美術教師、そして、教師退職後は、自ら主宰する画塾での指導など、教育者としても多大な貢献を残されています。

直方谷尾美術館では、生誕100年記念 阿部平臣展「知られざる思い出達」を開催しています。同美術館の花田館長は「同氏の代表的な作品である中近東シリーズの他、個人蔵となっている作品や自らの菩提寺である円徳寺に寄進した屏風や襖絵作品など、これまであまり公の場に展示される機会の少なかった多彩な作品を展示。今までと違った平臣さんの一面が見られる展覧会となっています」と話しました。詳しくは、19ページをご覧ください。

「家路 A」
(谷尾美術館蔵)

「襖絵 (木蓮)」一部
(円徳寺所蔵)

阿部平臣さんの経歴

東京美術学校予科を修了後、同校本科へ進学。1944年11月に田川中学校(現田川高等学校)に就職。1959年に第14回行動美術展に《群叫》を出品、行動新人賞、M氏賞を受賞。1964年NYでの個展開催のため1年間休職。渡米直前にNYの画廊が倒産により、予定を変更し、中東、ヨーロッパ、南米などを周遊。1972年3月に直方第一中学校退職後、直方市感田に画塾を開設。1983年に筑豊美術協会副会長に就任。1986年文化庁が《牧童 A》買上。東京国立近代美術館収蔵。2006年5月12日 逝去。享年85歳。

市のホームページでは、この他の話題も公開しています。